

# 市政刷新

2012年 新春号  
発行者／福岡市議会議員 調崇史（民主・市民クラブ）

市議会議員として初めての年末年始を過ごし地域の皆さまから改めて多くの激励を頂きました。2012年も元気いっぱい働いて参ります。今年もみなさまの市政に対するご意見をお聞かせ下さい。



**すぐ動く！よく働く！**  
福岡市議会議員（城南区）調たかし

## 始動！一年頭にあたり

昨年4月に4372票の付託を頂いて初当選させて頂き、今年5月には任期の2年目に入ります。今年は市民会館、総合体育館、少年科学文化センターなどの再整備に関する方向性の議論が大詰めを迎えるなど、長年の大きな懸案の幾つかに結論が出される年になります。

議会活動においては、これらの大型プロジェクトの内容が市民の理解を得られるものとなっているか、未来にツケを残すだけの整備になっていないかなど、常に緊張感をもって厳しくチェックしていききたいと思います。

また地域活動においては、皆さまとの日頃のふれあいの機会を積極的に増やし、足を使って声を集める活動に昨年以上の意欲をもって取り組みたいと思っています。

引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 行動！今年は何をやる！

### >> 議会活動

**1 福岡の成長のため、議会で訴えます！**

- ◆ 鴻臚館再現の推進
- ◆ 若者の雇用創出

**2 暮らしの安心のため、議会で訴えます！**

- ◆ 高齢化コミュニティの支援
- ◆ 特別支援教育の支援員充実

### >> 地域活動

**1 市政報告会を通じた地域との意見交換**

- ◆ 城南区の全校区で市政報告会を開催します！

**2 城南区の魅力を発信**

- ◆ 行事への参加などを通じて発見した城南区の旬の情報、新たな魅力を、ブログや会報で積極発信します！

## 議会活動！12月議会・一般質問で登壇！

### 1 単身の生活保護世帯の孤独死について

**学生が住まなくなったアパートで**  
去年の夏から秋にかけての地域活動の中で、生活保護を受けている単身の世帯で孤独死が相次いでいるという情報を得ました。共通するのは学生が住まなくなった家賃の安いアパートで起きている点。また、孤独死した人が地域の知らないうちに入居して、人知れず亡くなっていた点です。なぜこのようなことが起きるのか、原因を明らかにし対応を求めることを目的に質問をしました。



### 生活保護にあたっての「転居指導」

生活保護の受給にあたっては上限となる家賃(福岡市では単身で月額37千円)が決まっており、それを超えた場合にはケースワーカーが転居指導をします。こうして地域の知らないうちに転居した受給者が孤独死しているというのが、この問題の実態でした。質問では孤独死という結果が地域にとっても、受給者本人にとっても最も不幸であることを指摘した上で、受給者本人が町内会活動に参加するなど地域の輪に加わるような指導・助言を市がしっかりと行うことなどを要望し、前向きな答弁を得ました。

### 2 アジア向け観光施策と鴻臚館の有効活用について

#### 文化財の観光資源としての活用

12月議会には平成24年からの組織改編の議案が上程され、可決されました(詳細は裏面を参照)。本市が抱える鴻臚館、福岡城跡、元寇防塁などの文化財を観光資源として有効活用することなどを目的としたものです。質問ではアジアからの観光客誘致に向けて、鴻臚館の整備を急ぐべきだという立場で意見を述べ、市長・教育長から整備構想の策定を前倒す旨の明確な答弁を得ました。この質問の詳細は12月16日の西日本新聞朝刊に掲載されました。

#### なぜ今、鴻臚館なのか

鴻臚館は平安時代に大陸からの外交・通商使節をもてなす迎賓館の役割を果たしました。平安京や大阪・難波にも設けられたとされていますが、遺構が確認されたのは福岡のみで、大陸との交流の歴史を今に伝える貴重な史跡といえます。鴻臚館の再現を急ぐべきと考える最大の理由は、アジアからの観光客に市内で足を止めてもらう観光スポットが必要だからです。

本市は海外からのクルーズ船の誘致など、アジアからの集客・観光に力を入れています。観光の目玉がないことなどから、食事や宿泊施設の利用などが他の観光地へ流れることも多く、十分な波及効果が得られていません。鴻臚館を再現することはまさに本市の成長に向けた戦略的な投資であり、古くから福岡に根付くおもてなしの心をアジアに向けて発信することにもつながると考えています。

### 未来の世代のために

国と地方の借金は年々膨らんでいます。これまでの身の丈を超えたハコモノ整備はひとつの大きな要因であり、これからの公的施設の整備は過去の行政・政治の真摯な反省に立って考えなければなりません。その上で、未来の世代のために真に必要な施設を整備することは、現役世代が果たさなければならない「未来への責任」です。鴻臚館は歴史的な価値の割に市民からの認知度は高くありませんが、これは学校教育において、或いは生涯教育の観点で、市民が鴻臚館に親しみを持って学べる環境が整っていないからに他なりません。今回の質問への答弁では鴻臚館の将来像について「歴史と役割を市民が体感できる施設」という踏み込んだ答弁もありました。今後も様々な場面で鴻臚館の早期再現を訴え続けていきたいと考えています。



▲ 12月16日の西日本新聞朝刊

### 調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください  
〒814-0133  
福岡市城南区七隈4-8-17  
(七隈四角バス停前)  
TEL:092-834-9984  
FAX:092-834-9983  
mail:info@t-shirabe.net

### ウェブサイトのご案内

ツイッターやフェイスブックなどと連動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。  
また、オフィシャルウェブサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声を聞かせて下さい！